

日付	11/16（月）	人数	14人			
参加者	上郡町商工会					
主な意見						
(播磨科学公園都市の新しい活力の創出)						
<ul style="list-style-type: none"> テクノは、交通の便が悪く、近隣に大きなスーパーもない。産業用地はある程度うまくいっているようだが、住宅用地は余っている。鹿の餌場になるアーバンデザイン（広い植樹帯や塀の禁止など）も見直した方がいいのではないか。 						
(コミュニティの閉鎖性の打開)						
<ul style="list-style-type: none"> 地方の人口減対策として、いかに外部から人を呼び込んでくるかが課題。 田舎は閉鎖的で外部の者を受け入れない風潮があるので、地域で変えていかなければならぬ。 						
(山城を核としたツーリズムの可能性)						
<ul style="list-style-type: none"> 町が寂しくなってきたので、登山で町を活性化しようと8年前から取組んでいる。 県民局主催の山城ガイド養成講座に参加している。県民局の山城関連事業は、交流人口を増やし地域を元気にしようとする良い事業なので、ぜひ継続してもらいたい。 						
(教育環境)						
<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の教育環境の充実は誰もが関心が高い。安全対策としての通学路の看板やグリーンベルトの設置、コロナ禍で活用も増えた体育館等への空調設備の設置も重要。 ギガスクール構想について、端末機器の整備とともに、指導する教員等の人材育成にも取組む必要がある。 						